

貸借対照表  
2022年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,773,968	2,167,582	△ 393,614
流動資産合計	1,773,968	2,167,582	△ 393,614
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	2,300,000	2,300,000	0
(2)特定資産			
キャリアアップ支援制度積立資産	2,320,000	2,500,000	△ 180,000
特定資産合計	2,320,000	2,500,000	△ 180,000
固定資産合計	4,620,000	4,800,000	△ 180,000
資産合計	6,393,968	6,967,582	△ 573,614
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
一般正味財産	6,393,968	6,967,582	△ 573,614
(うち基本財産への充当額)	(2,300,000)	(2,300,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(2,320,000)	(2,500,000)	(△ 180,000)
正味財産の部合計	6,393,968	6,967,582	△ 573,614
負債及び正味財産合計	6,393,968	6,967,582	△ 573,614

**正味財産増減計算書**  
2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	11,000	6,000	5,000
受取会費			
正会員受取会費	810,000	815,000	△ 5,000
賛助会員受取会費	361,920	352,470	9,450
事業収益			
研修事業収入	342,422	210,000	132,422
失語症者向け意思疎通支援者 養成事業受託費	600,000	1,200,000	△ 600,000
受取補助金等			
石川県高度・専門医療人材養成 支援事業補助金	0	196,000	△ 196,000
地域活動支援補助金	50,000	50,000	0
コロナウイルス対策活動支援金	0	50,000	△ 50,000
雑収益			
受取利息	306	503	△ 197
経常収益計	2,175,648	2,879,973	△ 704,325
(2) 経常費用			
事業費			
福利厚生費	0	500	△ 500
会議費	47,692	36,436	11,256
旅費交通費	68,711	113,286	△ 44,575
研修会参加費	10,000	0	10,000
通信運搬費	260,443	207,877	52,566
消耗品費	224,629	158,756	65,873
印刷製本費	349,775	308,605	41,170
諸謝金	1,047,955	1,006,490	41,465
支払助成金	187,000	15,000	172,000
雑費	432	13,233	△ 12,801
保険料	21,900	12,230	9,670
会場費	88,716	57,700	31,016
支払手数料	10,781	24,777	△ 13,996
備品費	174,306	0	174,306
管理費			
会議費	38,750	46,500	△ 7,750
旅費交通費	18,400	6,680	11,720
通信運搬費	33,278	88,874	△ 55,596
消耗品費	17,874	14,909	2,965
支払手数料	119,050	119,850	△ 800
慶弔費	0	524	△ 524
会場費	29,570	3,800	25,770
選挙関連費	0	4,704	△ 4,704
福利厚生費	0	15,550	△ 15,550
経常費用計	2,749,262	2,256,281	492,981
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 573,614	623,692	△ 1,197,306
当期経常増減額	△ 573,614	623,692	△ 1,197,306
当期一般正味財産増減額	△ 573,614	623,692	△ 1,197,306
一般正味財産期首残高	6,967,582	6,343,890	623,692
一般正味財産期末残高	6,393,968	6,967,582	△ 573,614
II 正味財産期末残高	6,393,968	6,967,582	△ 573,614

### 財務諸表に関する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に疑義を抱かせる事象または状況はない。

2. 重要な会計方針

財務諸表は、公益法人会計基準(平成20年4月11日 令和2年5月15日改正 内閣府公益認定等委員会)に準拠して作成している。

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法  
該当なし
- (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法  
該当なし
- (3)固定資産の減価償却の方法  
該当なし
- (4)引当金の計上基準  
該当なし
- (5)消費税等の会計処理  
税込方式

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定額貯金	0	0	0	0
定期預金	2,300,000	0	0	2,300,000
小計	2,300,000	0	0	2,300,000
特定資産				
キャリアアップ支援制度積立資金	2,500,000	0	180,000	2,320,000
小計	2,500,000	0	180,000	2,320,000
合計	4,800,000	0	180,000	4,620,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定額貯金	0	0	0	0
定期預金	2,300,000	0	2,300,000	0
小計	2,300,000	0	2,300,000	0
特定資産				
キャリアアップ支援制度積立資金	2,320,000	0	2,320,000	0
小計	2,320,000	0	2,320,000	0
合計	4,620,000	0	4,620,000	0

5. 担保に供している資産

なし

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

なし

7. 保証債務等の偶発債務

なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

なし

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
地域活動支援補助金	日本言語聴覚士協会	0	50,000	50,000	0	一般正味財産
合計		0	50,000	50,000	0	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. 重要な後発事象

該当なし

## **附属明細書**

1. 基本財産及び特定資産の明細  
財務諸表の注記に記載したため、省略する。
2. 引当金の明細  
該当なし。

**財産目録**  
2022年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(資産の部)			
流動資産			
現金	手元保管		0
預金	普通預金 北國銀行野々市支店	運転資金として	1,773,968
流動資産合計			1,773,968
固定資産			
基本財産	定期預金 北國銀行野々市支店	公益目的保有財産として 管理されている預金	2,300,000
特定資産 キャリアアップ 支援制度積立 資産	定期預金 北國銀行野々市支店	特定費用準備資金として 管理されている預金	2,320,000
固定資産合計			4,620,000
資産合計			6,393,968
(負債の部)			
流動負債			0
流動負債合計			0
固定負債			0
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			6,393,968

正味財産増減計算書内訳表  
2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計 公1	会員間事業会計 他1	法人会計	内部取引 消去	合計	備考
I 一般正味財産増減の部						
経常増減の部						
(1)経常収益						
受取入会金	5,500	0	5,500		11,000	新入会員1,000円×11名
受取会費						
正会員受取会費	405,000	0	405,000		810,000	正会員5,000円×162名 賛助団体23団体(A会員50,000円×2団体、B会員30,000円×2団体、C会員10,000円×19団体)、賛助個人会費5,000円×3名
賛助会員受取会費	180,960	0	180,960		361,920	
事業収益						
研修事業収入	342,422	0	0		342,422	失語症者向け意思疎通支援者養成事業受託費、地域リハ塾、生涯学習専門講座等
失語症者向け意思疎通支援者養成事業受託費	600,000	0	0		600,000	
受取補助金等						
地域活動支援補助金	50,000	0	0		50,000	日本言語聴覚士協会
雑収益						
受取利息	0		306		306	北國銀行
経常収益計	1,583,882	0	591,766		2,175,648	
(2)経常費用						
事業費						
会議費	47,692	0	0		47,692	各部会議費
旅費交通費	68,711	0	0		68,711	各部会議・講師旅費交通費
研修会参加費	10,000	0	0		10,000	診療報酬研修会派遣
通信運搬費	260,443	0	0		260,443	年報、ニュースレター発送等
消耗品費	224,629	0	0		224,629	各種研修会等
印刷製本費	349,775	0	0		349,775	各種研修会資料、ニュースレター等
諸謝金	1,047,955	0	0		1,047,955	失語症者向け意思疎通支援者養成事業、生涯学習基礎講座、生涯学習専門講座、地域リハ塾等
支払助成金	187,000	0	0		187,000	キャリアアップ支援事業、NPO法人和音賛助団体助成金、石川JRAT活動支援金
雑費	432	0	0		432	ホームページ材料費等
保険料	21,900	0	0		21,900	失語症者向け意思疎通支援者養成事業
会場費	88,716	0	0		88,716	失語症者向け意思疎通支援者養成事業
支払手数料	10,781	0	0		10,781	振込手数料
備品費	174,306	0	0		174,306	パソコン
管理費						
会議費	0	0	38,750		38,750	総務・財務部会議、理事会費
旅費交通費	0	0	18,400		18,400	総務・財務部会議、理事会費
通信運搬費	0	0	33,278		33,278	総務・財務部、理事会等
消耗品費	0	0	17,874		17,874	総務・財務部等
支払手数料	0	0	119,050		119,050	振込手数料、公認会計士謝礼
会場費	0	0	29,570		29,570	総会・理事会会場費
経常費用計	2,492,340	0	256,922		2,749,262	特定費用準備資金より18万円使用
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 908,458	0	334,844		△ 573,614	
当期経常増減額	△ 908,458	0	334,844		△ 573,614	
当期一般正味財産増減額	△ 908,458	0	334,844		△ 573,614	
一般正味財産期首残高	5,514,107	△ 194,314	1,647,789		6,967,582	
一般正味財産期末残高	4,605,649	△ 194,314	1,982,633		6,393,968	
II 正味財産期末残高	4,605,649	△ 194,314	1,982,633		6,393,968	

## 監査報告書

公益社団法人 石川県言語聴覚士会  
代表理事 徳田 紀子 殿

私たちは、当法人の令和3年度 事業年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果について、以下のとおり報告します。

### 1 監査方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席し、会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表、附属明細書、財産目録を閲覧し、当法人の理事等から、その職務の執行状況等について定期的に報告を受け随時説明を求めました。


### 2 監査結果

- (1) 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び財産の状況等を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### 3 追記情報

以上

令和4年4月20日

監事 木下 浩美 

監事 中村 謙 